

授 業 名	言語学		授 業 形 態	講 義
			配 当 学 期	2年(前期)
担 当 教 員 名	松本 亮		単 位 数	2単位
			時 間 数	60時間
授 業 概 要 学 習 目 標	〔授業概要・学習目標〕 この授業は、普段意識せずに使っている「ことば」について考え、言語学の基礎的な概念、言語学の主な分野について理解することを目的とする。また、言語聴覚士国家試験は日本語学の分野からも出題されていることから、日本語の文法についても基礎的な知識を身につける。			
授 業 回 数	授業の内容			
第 1 回	言語とは何か	第 16 回	意味論①:語と語の意味関係	
第 2 回	言語学のなにかみ	第 17 回	意味論②:多義語と比喻	
第 3 回	人間言語の特徴	第 18 回	語用論①:発話行為	
第 4 回	音声学(復習)	第 19 回	語用論②:ポライトネスと待遇表現	
第 5 回	日本語音韻論(復習)	第 20 回	意味論③:日本語の動詞(2)	
第 6 回	日本語の品詞整理	第 21 回	意味論④:日本語の動詞(3)	
第 7 回	形態論①:形態素とは	第 22 回	社会言語学①:地域方言と社会方言	
第 8 回	形態論②:語形成	第 23 回	社会言語学②:言語接触と言語変化	
第 9 回	形態論③:日本語の動詞(1)	第 24 回	言語と文字	
第 10 回	形態論④:形態素分析練習	第 25 回	言語類型論①:形態的分類	
第 11 回	統語論①:直接構成素	第 26 回	言語類型論②:語順からの分類	
第 12 回	統語論②:句構造基礎・生成文法	第 27 回	日本語の文法①:「は」と「が」	
第 13 回	統語論③:文の構造	第 28 回	日本語の文法②:他の言語と比べて	
第 14 回	統語論④:文の種類	第 29 回	日本語の歴史と言語変化	
第 15 回	前半のまとめ	第 30 回	全体のまとめ	
評 価 方 法	課題・小テスト 30%、期末試験 70%			
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 「入門言語学」スリーエーネットワーク、原沢伊都夫(2016) 〔参考図書〕 「言語学入門」研究社、佐久間淳一 他(2004) 「言語学入門」三省堂、斎藤 純男(2010) 「音声学・言語学」医学書院、今泉敏編(2009)			
履 修 上 の 留 意 点	復習を必ず行うこと。確認のために随時小テストを行う。			
メ ッ セ ー ジ	内容が盛りだくさんで大変かもしれませんが、毎日使っている「ことば」を題材としているので、興味を持って取り組んでください。 基本的には講義形式をとりますが、一方的な講義ではなく、双方向的な授業を行いたいと思っています。授業に積極的に参加する心構えで受講してください。			